

リム、新興国市場を開拓

携帯電話の液晶画面にフォント(文字)を表示するソフトを開発するリムコーポレーション(浜松市、竹塚直久社長)は、中東やインドなど新興国市場を開拓する。アラビア語やヒンズー語などのフォントソフトを開発、携帯電話や工作機械向けに売り込む。携帯電話用フォントは人口減の日本では大幅な成長は期待できないため、積極的な海外展開を進める。



ルーペで拡大しないと見えない小さな文字も表示できる

アラビア・ヒンズー語に対応 国内市場 低迷補う

ヒンズー語やアラビア語は、漢字やアルファベットと異なり、使われ方に応じて文字の形そのものが微妙に変化する。例えば、アラビア語は同じ文字でも単語の最初と最後に使われる場合では形が違つた。同社は東京外国語大学と協力して、人工知能で文章の意味を理解し適切な形の文字を表示するフォントソフトを開発した。タイ語にも対応できる。開発したフォントソフトは、日本の工作機械メーカーの現地向け製品に採用される予定だ。液晶画面に英語で表示しているエラーメッセージなど

を現地語に変更したいという要望が複数のメーカーからあるという。世界2位で今後も成長の見込めるインドの携帯電話市場にも売り込む。

同社は、米粒に写経できるほど小さな文字を表示するなどの高い技術力を持つ。国内の携帯電話の7割に同社のフォントが採用されているが、国

内の携帯電話市場に頼る収益構造には市場縮小のリスクもある。

同社は携帯電話メーカーから生産台数に応じたライセンス料を受け取るため、携帯電話の出荷台数が売り上げに直結する。電子情報技術産業協会によると、09年度の国内出荷台数(PHS含む)は約3100万台。直近

静岡県が16日まとめた2010年の労働組合基礎調査によると、6月末時点での県内の労働組合員数は30万5773人で、09年から1.1%増

のピークだった07年度に比べ4割減った。買い替も大幅な回復は望めない

県内労組員、2年連続増 6月末時点 県まとめ

加した。増加は2年連続。組合数は1.5%減り1329組合。組合員数を推定雇用者数で割った推定組織率は19.7%で、5年連続で上昇した。

組合員数を業種別にみると、全体の5割を占める製造業や、金融・保険業などで増加。電気・ガス・熱供給・水道業は組合数が1つ純増したため、組合員数も500人以上増えた。公務は「事業所の統廃合の影響で」(県労働政策課)組合数・組合員数ともに大幅に減少した。

地方への移管見送り

ハローワーク 地域主権会議 3年検証し再検討

政府の地域主権戦略会議(議長・菅直人首相)は16日、全国知事会などが強く求めているハローワークの地方への移管を見送る方針を示した。ハローワークについては希望する自治体と国とで運営協議会をつくり、無料

職業紹介や雇用保険の認定、公営住宅に関する相談業務などを一体的に実施する案を公表。地方への移管は3年程度検証した上で改めて検討するとした。

年内に閣議決定する国の出先機関改革の工程を

「何のための(出先機関)原則廃止かわからない」と批判。知事会とし

とみて、インドや中東などを開拓する。

の意見を来週にもまとめる考えを示した。会議では「ひも付き補助金」の一括交付金化に関して、対象事業案の一部も公表した。片山善博総務相は16日朝の地方6団体との会合で、一括交付金の導入後、改善課題などを検証する推進機関を地域主権会議の下に設置する考えを明らかにした。

パートタイム労働者の組合員数は1万5490人だった。雇用悪化を反映したとみられ、08年6月末(8855人)に比べると7割以上増えている。全組合員数に占める割合は5.1%で前年から0.2%上昇した。